

2026年度（令和8年）2回運営推進会議 議事録

事業所名	大泉学園やまぼうし					
所在地	練馬区大泉学園 7－19－17					
開催日時	令和8年6月27日　土曜日　15：00～15：30					
開催場所	介護老人保健施設ふきのとう 1階会議室					
出席者内訳	利用者　　0名 利用者家族　2名　U様　N様 民生委員　　1名　F様 地域代表　　1名　K様 包括　　　　1名　大竹 練馬区職員　0名 その他　　　2名　翔洋会　事業推進室　菅谷 長谷川（やまぼうし管理者）　今井(さくらの家管理者)					
主な議題 活動報告	現状報告 やまぼうし					
	要支援 2					
	2					
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
	5	5	3	2	1	2. 1
	現在 18名の利用者様に登録いただいています。空きが7名 終了2名(有料、入院)					
	・ 職員状況					
	やまぼうし					
	常勤職員	非常勤職員	非常勤看護 師	計		
	1 0	1	1 辻クリ兼務	1 2		
看護師（週 2.5 日勤務）非常勤 1 名嘱託常勤同様勤務 7 月より派遣 1 名活用(夏休・有給消化の為)						
・ 行事報告. ボランティア						
やまぼうし						
5/4～5/6		端午の節句・菖蒲湯				
6/16～6/19		外食ツアー（サンライズサー カス）				
5/13　6/23		ワンちゃんボラ				
6/27		運営推進会議				
5/28　6/25		職員会議				
5/16		園芸ボラ				
5/6　5/22　6/28		誕生日会				
5/16　5/20　5/30		音楽療法				

	6/3 6/13 6/17 6/27 研修報告 <table><tr><td>5/14</td><td>カスハラ研修</td><td>長谷川・豊田・伊藤・阿部</td></tr><tr><td>5/26</td><td>虐待・身体拘束廃止</td><td>長谷川・豊田・早川・川村</td></tr><tr><td></td><td>BLS 研修</td><td>川村・諸橋・早川・館野</td></tr><tr><td></td><td>正しい手指消毒</td><td>長谷川・館野・新居</td></tr></table> 事故・ヒヤリの報告です。 事故ですが、5月は異食が1件(ティッシュ)、転倒2件(レク後・夜間)どちらも外傷無し、外傷1件(擦過傷)です。6月は外傷2件(擦過傷・爪切り)、忘れ物1件(杖)、書類1件(入れ間違い)になります。事故の外傷については、拘縮が強く、爪も肥厚していて切りづらく、その爪があたってなっているのではとのことで、電動やすりを購入し、爪切りの事故も合わせて、こちらを使用することが対策となっています。 ヒヤリですが、5月は忘れ物2件(施設のバッグ・活動記録)、サービス忘れ1件(時間をおいて訪問)、薬2件(日付間違い・セットミス)、その他1件(連絡口閉め忘れ)、6月は忘れ物3件(活動記録2件・帽子)、その他2件(シートベルト・書類)になります。5、6月と忘れ物のヒヤリが多いので、職員に確認の徹底と再周知しております。	5/14	カスハラ研修	長谷川・豊田・伊藤・阿部	5/26	虐待・身体拘束廃止	長谷川・豊田・早川・川村		BLS 研修	川村・諸橋・早川・館野		正しい手指消毒	長谷川・館野・新居
5/14	カスハラ研修	長谷川・豊田・伊藤・阿部											
5/26	虐待・身体拘束廃止	長谷川・豊田・早川・川村											
	BLS 研修	川村・諸橋・早川・館野											
	正しい手指消毒	長谷川・館野・新居											
要望、意見及び助言	K様 N様「音楽療法とは、どんなことしているのですか？」 長谷川「翔洋会にて、音楽療法の資格を持っている職員がいます。週に1回隔週で水曜・土曜にきてもらっています。音大出身の方で歌だけでなく、身体を使いながら歌を唄ったり、楽器を使ったりして行っております。利用者様の評判もいいです。」 N様「昨日地震がありました。そういった時はどんな対応されるのですか？」 長谷川「震度にもよりますが、昨日のような地震の場合は、私が施設の夜勤者に連絡をとり、安否確認を行っております。また震度5から6ぐらいの地震に際は私や自宅待の職員が施設にかけつけるようになっております。」 菅谷「7/15 防災研修として、夜間に震度5の地震がおきたことを想定した机上訓練を行う予定となっております。」												
その他	大竹「サンライズサーカスさんは、ミキサー食や障害者様にも使えるいい場所ですね、ご家族も参加していいですか？」 長谷川「今回は職員と利用者様のみでした。以前行ったこともあります。今回は行っておりません。次回は参加できる形を模索します」 大竹「ご家族も参加できれば、利用者様もみてもらえて、いい												

	じゃないかなと思ひまして、検討お願いします。」 K 様「BLS 研修ってなんでしたっけ？」 長谷川「人形を使つての心臓マッサージ・人工呼吸・AED の使用ですね、リハビリ科が中心となり、年に 4 回ぐらい行っております。」
次回の開催予定	日時：令和 8 年 8 月 2 2 日土曜日 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0 場所：介護老人保健施設ふきのとう 1 階会議室

小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

大泉学園やまぼうし

令和 7 年度事業報告書

はじめに

一人ひとりに寄り添い、その人（又その家族）の心身の状況、希望を聞きながら、認知症になっても「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし」続けられるように、柔軟できめ細かい支援を心がけてきました。

小規模多機能のサービスの提供の中で、家庭的な雰囲気、馴染みの関係の中で認知症の高齢者と寄り添い安心して過ごせていることを実感しています。しかし、小規模多機能サービスは在宅が困難になれば施設への通過点に過ぎません。その中で少しでも長く安心して、人と楽しく交わり、気持ち、感性を開いていく中で、心身の活性化が図られ、その人の持っている力やその人らしさも発揮され、気持ちの安定や意欲につながってくるように思います。

本当に「小さな場」ですが、これからも笑顔の絶えない、地域で当たり前暮らし続ける支えになりたいと思っています。

開設16年目になりますが、今後も地域に認められるよう努力して続けていきたいと思っています。

1、 運営方針

医療法人社団翔洋会の基本理念「温かいふれあいの心を大切に、新しい地域医療、保険、福祉のネットワークづくりを進める」に基づき、地域密着型居宅介護事業所として、練馬区および関係市町村、地域の保険医療福祉サービスと綿密な連携をとりながら、大泉地区を中心とした総合的なサービスの提供に努める。

2、 運営理念

「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる。」

- * ゆったりと、くつろいで過ごすことが出来る場所であること
- * 自分のしたいこと、できることがし続けられること
- * 自分のルールで過ごすことが出来る、自由であること
- * 地域に根ざし、地域に開かれた場所であること

3、 利用状況と調整

① 登録利用者数は現在20名

② 通所者数の調整や「訪問」の時間調整「泊まり」の日程調整等、サービス担当者会議や運営推進会議で利用者ご家族に説明し理解を求めました。

利用者状況

＜利用登録者＞	年間平均約 22 名	年間平均介護度 2.0
＜通い＞		

一日 15 名までの通所になっている。

令和 7 年度通所実績は年間 3,703 名、一日平均通所者数は 10.1 人になっています。

<訪問>

年間訪問実績回数は 5485 回、一日平均約 15 回になっています。送迎も含みます。

1、送迎時、独居のためご自宅に入り通所準備や自宅の戸締り。

2、在宅日（通所しない日）に訪問し安否確認、食事提供 服薬管理、おむつ交換 簡単な処置 居室やトイレの環境整備 散歩 話し相手 買物代行、同行等

<泊まり>

やまぼうしでは一日 5 名（緊急時は 6 名）まで宿泊サービスを利用できますが、令和 7 年度宿泊数は

1091 名、一日平均 2.9 人での利用になっています。

2. 職員構成

職種	常勤	非常勤
管理者	1（兼務）	
看護師		1
介護支援専門員		1（兼務）
介護士	10（兼務 1）	2（兼務 2）
調理担当		1（兼務）

*

3. 会議体制

① 運営推進会議 偶数月の第 4 土曜日に開催（年に 6 回開催）

② 法人の運営会議（幹部会） 毎月第 3 火曜日

③ 研修・勉強会 適時実施

④ 職員会議 毎月第 4 木曜日（17：30～19：30）

⑤ 各種委員会

<食事・食品管理>

・必要に応じて法人の管理栄養士による食事内容の相談・助言を受けました。

・食材・メニューの調整、管理（食品在庫のチェックと冷蔵庫の整理清掃など）

行事食で季節を感じていただけるように彩りや盛り付けにも配慮しました。

<環境・衛生>（排泄・入浴を含む）

・年間、月間、週間の清掃チェック表を作成し実行いたしました。
・排泄チェック表で管理することにより利用者の体調管理を行いました。

・環境整備

<防災・リスク>

- ・令和7年度は利用者を交えての訓練は行えませんでした。職員が火事を想定し、グループホームと合同で行いました。電子教材の訓練も含めて計2回行っています。
- ・事故報告書・ひやりはっとは、1か月評価、3か月評価とモニタリングを行っています。

<車両>

- ・毎日車両点検（チェック表）・清掃洗車行っています。
- ・利用者送迎時間に合わせ運行表の随時見直しを行う。
- ・定期点検

<園芸>

- ・季節の草花の植栽と手入れを利用者様と一緒に楽しみました。

<研修>

・職員個々が希望する研修計画書を提出し年間個別研修計画作成。

- ・コロナウイルスも落ち着き、外部研修にも参加するとともに、法人内研修も行っております。
- ・研修報告管理

<広報>

- ・やまぼうし便りの発行（月1回）

- ⑥ 家族懇談会 行うことができませんでした。
- ⑦ 地域ケア会議・練馬区地域密着型事業者連絡会等
大泉北包括のケア会議に参加することが出来ました。
- ⑧ 練馬区小規模多機能連絡会に参加し他の小規模多機能事業者の取り組みや悩みなど報告を聞き参考になりました。
- ⑨ 大泉学園町づくりネット・ショップ学園通りの運営に参加し地域の福祉関係者と交流し情報交換を行っております。今年度はあまり参加できませんでした。

1. サービス計画

（1）行事

- | | |
|----|------------------------|
| 4月 | お花見（大泉中央公園、和光樹林公園、栄緑道） |
| 5月 | 端午の節句（菖蒲湯）・ |
| 6月 | 外食（サンライズサーカス） |
| 7月 | 七夕会 |
| 8月 | 夏祭り |
| 9月 | 敬老の会 |

10月	バザー
11月	遠足・外食（小金井公園）
12月	ミニクリスマス会・冬至（ゆず湯）
1月	初詣
2月	節分（行事食・豆まき）
3月	ひな祭り

※ 利用者個々の誕生日に誕生会を行う。

* ボランティア再開。ワンちゃんが再開しております

《年間行事は全て計画通り実行できました。》

（２）日常生活上の支援

支援を行う上で私達が大切にしたいこと

- ゆったりとくつろいで過ごすことができる場所であること。
- できる限り自分のしたいこと、できることが続けられる。
- 自分のルールですごすことができる、自由であること。

自立支援を目標にミーティング等で職員が情報を共有化し支援を行う上で大切にしたいことを実行してまいりましたが、職員の技量にばらつきがあり今後、職員の介護技術の標準化の必要性を強く感じております。利用者様一人ひとりに個性があるように、その方に合った支援が行えるように努力をしていく所存です。

（３）医療

血圧測定や服薬管理等日常の健康管理を行い、急変時や必要と認められる場合は、母体医療法人、辻内科循環器科歯科クリニックなどに協力を求め、家族の相談に応じる事ができました。

２．職員育成

外部研修に参加した際には伝達研修を行い、行っていない職員も学べるような機会を設けました。来年度は今年度よりも多くの外部研修に参加し、認知症ケアや介護技術の向上に向けて努力します。また、月一の職員会議にて、個々の介護の仕方について統一をはかっております。

３．施設設備の点検・補修

管理会社に委託し定期的に点検メンテナンスを行っています。

４．防火・防災

- (1) 防災訓練は計画通りにはいかず、来年度は利用者も交えての訓練を計画通りに行うようににします。また練馬区の訓練にも引き続き参加していきます。
- (2) 近隣住民への協力の依頼、協力の申し出はできていません。
- (3) 地域(町内)の防災訓練への参加はできませんでした。

5. その他

- (1) 苦情受付 要望等も苦情と理解し、できるだけ家族の要望に添えるよう真摯に受け止め、
できること、できないことを家族に説明し理解していただけるように努力しました。苦情は随時対処しました
- (2) 業務改善 仕事の流れ、記録の整備、勤務体制の見直し等随時行いました。
- (3) 地域交流 (やまぼうしから情報発信できるように努力していきます。)

小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

大泉学園やまぼうし

令和8年度事業計画書

はじめに

利用者一人ひとりの人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。

運営方針

医療法人社団翔洋会の基本理念「温かいふれあいの心を大切に、新しい地域医療、保険、福祉のネットワークづくりを進める」に基づき、地域密着型居宅介護事業所として、練馬区および関係市町村、地域の保険医療福祉サービスと綿密な連携をとりながら、大泉地区を中心とした総合的なサービスの提供に努める。

運営理念

「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる。」

- * ゆったりと、くつろいで過ごすことが出来る場所であること
- * 自分のしたいこと、できることがし続けられること
- * 自分のルールで過ごすことが出来る、自由であること
- * 地域に根ざし、地域に開かれた場所であること

基本的サービス指針

- (1) その方らしさを活かし、持っている能力を発揮していただく「自立援助」の場を基本理念とし、地域の一員として安心して生活を営むことができるよう援助する。
- (2) 介護計画に基づき、心身の状況に応じて個別に必要なサービスを提供し、生きがいを持って快な生活を提供する。
- (3) その方の尊厳を大切に、ご意向に沿った生活を提供できるよう、また共同生活での「集団の力」も発揮できるよう、職員は専門職として常に向上とチームワークづくりを目指し、自己研鑽に努める。
- (4) 医療・福祉・家族・地域・法人内外の機関等と連携し、協力を得て安心して豊かな生活ができるよう支援する。
- (5) 地域での馴染みの暮らし、なじみの関係を大切にし、地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。

運営上特に留意する事項

- (1) 利用者本人の意思の尊重

- (2) リスク管理
- (3) 職員のチームワークの維持向上
- (4) 家族との連携
- (5) 地域との連携
- (6) 医療との連携

事業運営の体制

1. 事業規模

登録定員	29名
通所サービス	15名
宿泊サービス	5名（1日） 緊急時6名まで可能
訪問サービス	随時（訪問要員1名）

<利用状況の改善・調整>

- ① 事業所経営安定のため、登録利用者25名の確保。施設入所や入院など不安定要素もあり、小規模多機能サービスの啓蒙活動を行い、周知を図っていく。
- ② 「通い」「泊まり」の人数の調整や「訪問」の時間調整等ご家族の理解を得る必要のあることなどを説明、理解を求める。

2. 会議体制

- ① 運営推進会議 偶数月の第4土曜日に開催
- ② 法人の運営会議 毎月第3火曜日
- ③ 職員会議 毎月第4木曜日
- ④ ミーティング 随時業務中に実施
- ⑤ 各種委員会

<食事・食品管理>

- ・ ふきのとう栄養士による食事チェック
- ・ 食品管理（食品在庫のチェックと冷蔵庫の整理清掃など）
- ・ メニュー管理

<環境・衛生> （排泄・入浴・口腔を含む）

- ・ 年間・月間・週間清掃計画チェック
- ・ 清掃・排泄チェック表管理
- ・ 環境整備
- ・ 歯ブラシ・コップの衛生管理
- ・ 義歯の管理

<防災・リスク>

- ・年2回の避難訓練・防災委員会開催
- ・年2回の練馬区防災システム係との机上訓練
- ・リスク委員会による事故報告書の再検討
- ・マニュアルの現状に即した見直し
- ・ヒヤリハットの意識化を図り事故防止の検討
- ・事故報告書より原因・要因の防止策の検討

＜車両＞

- ・車の定期点検、洗車（委託）
- ・運行表の随時見直し
- ・日々の車両の点検、清掃（委託）
- ・悪天候の際の対応マニュアル作成
- ・事故時の対応マニュアル

＜研修＞

- ・施設内研修（職員のスキル向上を図り毎月の勉強会の実施）
- ・施設外研修情報掲示（練馬区人材育成研修センター）し希望研修受講

の実施

- ・研修報告書の管理

＜広報＞

- ・やまぼうし便りの発行（毎月発行予定）
- ・地域開放行事や年間行事等の計画

⑥地域ミニケア会議・練馬区地域密着型事業者連絡会・練馬区地域密着型分科会に参加

⑦大泉学園町づくりネットに参加し情報交換等地域との連携を図る。

1. サービス計画

（1）行事

4月	お花見		
5月	端午の節句（菖蒲湯）		
6月	外食ツアー・		
7月	七夕・（西瓜割り）		
8月	納涼祭		
9月	敬老会		
10月	（仮）バザー		
11月	遠足		
12月	クリスマス会	冬至（ゆず湯）	年越しそば
1月	初詣・書初め・		
2月	観梅・節分		
3月	雛祭り（行事食）		

* お一人ひとりの誕生日に誕生会を行う。

（2）日常生活上の支援

- ・ 自立支援
- ・ 利用者が有する力を発揮していただけるよう、できるだけしたいこと、できることを し続けられる支援を行い能力の維持を図る。困難ところはその人の力を見極め、見守りや支援を行っていく。
- ・ その人の能力にあった役割が持てるよう、調理、洗濯物畳み、食器洗い、配膳、お茶出し、買い物等できることを探していく。
- ・ 暖かい日はなるべく散歩に出るなどして、歩行力の維持、健康の維持、気分転換など につなげていく。
- ・ お茶を飲みながらのおしゃべりや日向ぼっこ、ソファで横になるなどくつろげる場 となるよう環境や日課を考えていく。
- ・ 季節の行事や地域の催し物などにもできるだけ参加し、馴染みの暮らし、なじみの関 係を大切にする。
- ・ 生活リハビリ、脳リハビリ実施、個別機能訓練実施。

(3) 医療

バイタル測定や服薬管理等日常の体調管理を行う。

急変時や必要と認められる場合は、母体の医療法人、辻内科循環器科 歯科クリニック・埼玉病院などの協力を求める。

2. 職員育成

(1) 内外の研修実習などを通して職員の専門性の向上を図る。

- ① 認知症等に対する基本的な専門知識の習得や研修、伝達研修実施
- ② 利用者のニーズを的確に把握する脳力や寄り添って実践するための経験と技量
- ③ 24時間・365日の安心安全確保のための医療その他サービスとの連携や職員体制の確保
- ④ 資格取得・スキルアップのための便宜を図る

(2) 他施設・サービス見学交流

3. 施設設備の点検・補修

管理会社に委託し定期的に点検とメンテナンス。

4. 防火・防災

- (1) 防災訓練、避難訓練計画 年2回
- (2) 防火管理責任者 代表者 今井 賢典
- (3) 地域住民との協力

火災や自信等が発生したときに近隣住民の方からの協力もいただけるよう呼びかけ、地域住民の一員として様々な形で交流を図る。

5. その他

- (1) 苦情受付
- (2) 業務改善 仕事の流れ、記録の整備、勤務体制の見直し
- (3) 利用者主体のグループ作り
- (4) 家族との協力体制
- (5) 帳簿書類整理整備
- (5) 外部評価・自己評価受審し目標達成計画及び自己評価結果の公表
- (6) 実習生の受け入れ（十文字女子大学、大泉学園中学）
- (7) 「やまぼうし」便りの発行（月１回）
ホームページ立ち上げ